

「省エネ市民会議」					
会議年月日	22年4月16日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	大前、石垣、馬渡、新美、塩幡、新田、日比野、山田、平手、春田(記) (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
あしたのニッポン「地球温暖化対策」(政府広報 平成22年3月号)について					
* 2Hに渡り激論が交わされた(下記はその一部です) *					
1、家庭のCO2削減にチャレンジしましょう！政府も応援します					
・90年比で4割も増加しているのは、世帯数の増加、大型家電、情報機器の普及による。					
・家庭からのCO2排出量のグラフ数値に疑問があるが傾向として使える。					
・「チャレンジ25キャンペーン」と以前の「チームマイナス6」とちっとも変わっていない？					
2、家電エコポイント制度					
・家電メーカーの販売促進策ではないか。					
・家電製品をエコな使い方をした人にエコポイントを付与する制度が欲しい。					
3、住宅エコポイント制度					
・住宅メーカー、リフォーム業者、建材メーカーの販売促進策ではないか。					
・住民個人が施工したエコリフォームは対象外は？					
・市民レベルで出来る冷暖房対策にエコポイントを付与する制度が欲しい。					
4、太陽光発電の普及					
・促進付加金は太陽光発電を設置していない人が負担するのはおかしい。国民の税金とすべき。					
・太陽エネルギーを利用したエコ機器(温水器、照明・・・)の普及策が必要。					
・中国では太陽熱温水器が殆どの家庭に設置されている。					
5、エコカー減税・補助金					
・まさに自動車メーカーの販売促進策で、マイカーに出来るだけ乗らないのが基本。					
・車を廃車した人、エコな使い方をした人にエコポイントを。					
* 次回の予定					
・日程＝5月14日(金)13:30～15:30					
・内容＝我が家の環境家計簿					
・進行＝平手さん(会議室の設営も含む)					

以上